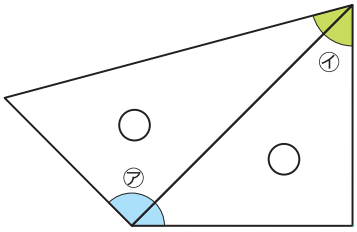
名前

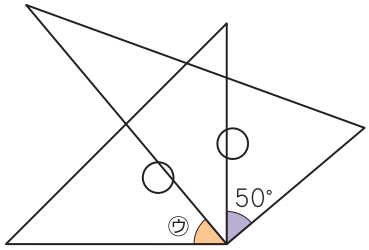
1 角

1 次の(1)、(2)の図は、1組の三角じょうぎを組み合わせたものです。㋐～㋒の角の大きさを分度器を使わないで求めましょう。

(1)



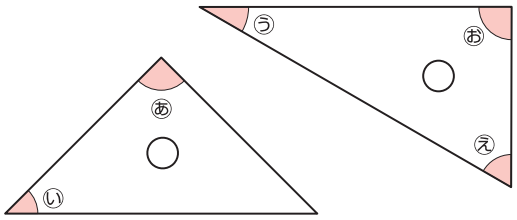
(2)



㋐（　　）　㋒（　　）

㋑（　　）

2 1組の三角じょうぎを使って、次の大きさの角をつくります。どの角とどの角を合わせればよいですか。右の図の㋐～㋔の記号で答えましょう。



(1) 105°

□の角と□の角

(2) 180°

□の角と□の角

算数

1学期のまとめも
読書感想文も

Z会×ちびむすドリル

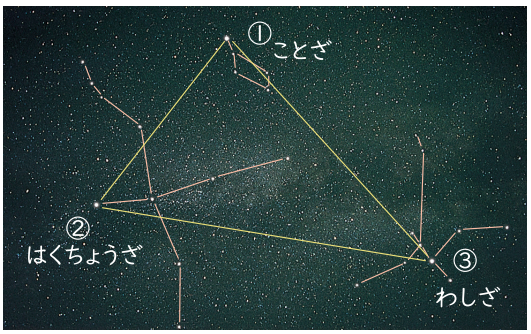
10分　／

名前

2 星ざの観察／人のからだ

1　図1は、7月のある日の午後8時の東の空のようすを表したものです。次の問題に答えましょう。

図1



(1)　図1の①～③は、明るい一等星です。①～③の星の名前を、次の**ア**～**エ**の中から1つずつ選び、記号を書きましょう。

ア　アンタレス　　**イ**　デネブ
ウ　ベガ　　**エ**　アルタイル

①（　　）　②（　　）　③（　　）

(2)　図1の①～③の星をむすんでできる三角形を何といいますか。名前を書きましょう。

（　　）

2　次の文章は、星ざ早見の使い方について説明したものです。①～④にあてはまる言葉を下の**ア**～**エ**の中から1つずつ選び、記号を書きましょう。

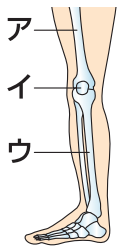
> まず、観察する（　①　）に星ざ早見の目もりを合わせます。次に、観察する（　②　）を向きます。観察する（②）を（　③　）にして、星ざ早見を持ちます。星ざ早見を（　④　）にかざして、夜空の星と見くらべます。

ア　方位　　**イ**　時こく　　**ウ**　下　　**エ**　上

①（　　）　②（　　）　③（　　）　④（　　）

3　右の図は、人の足のほねを表しています。曲げられる関節があるのはどこですか。**ア**～**ウ**の中から1つ選び、記号で書きましょう。

（　　）



理科

1学期のまとめも
読書感想文も
Z会×ちびむすドリル

10分

名前

3 県の様子

1 次の説明にあてはまる都道府県を地図中の**ア**～**キ**の中からそれぞれ選び、記号とあてはまる都道府県名を書きましょう。

① 日本で最も広い都道府県で、農業がさかんです。都道府県庁所在地の札幌市の雪まつりにはたくさんの観光客がおとずれます。

場所（　　）都道府県名（　　）

② 都道府県庁所在地は那覇市です。周囲の海がとても美しく、日本国内や外国からもたくさんのリゾート客がおとずれます。

場所（　　）都道府県名（　　）

③ 四国地方の都道府県です。都道府県庁所在地は松山市です。瀬戸内海に面していて、本州とは、しまなみ海道で結ばれています。

場所（　　）都道府県名（　　）

④ 中部地方で一番人口の多い都道府県です。都道府県庁所在地には、名古屋城があります。

場所（　　）都道府県名（　　）

1学期のまとめも
読書感想文も

Z会 × ちびむすドリル

10分　／

名前

4 色／天気

音声はこちら

1 音声を聞いて、まねして言いましょう。

聞いてみよう 音声 03

red	orange	yellow	green	blue
赤	だいだい色	黄色	緑	青

purple	brown	black	white
むらさき	茶色	黒	白

2 音声を聞いて、まねして言いましょう。聞こえた英語と絵を線でむすびましょう。

聞いてみよう 音声 04

① ●　② ●　③ ●　④ ●

3 音声を聞いて、英語をなぞりましょう。

聞いてみよう 音声 05

How is the weather?　（お天気はどう？）

It's sunny.

It's rainy.

1学期のまとめも 読書感想文も

Z会 × ちびむすドリル

10分　／

名前

5 漢字パズル・部首さがし

1 一つの漢字を部分にわけて横にならべました。もとの漢字を書きましょう。

〈例〉 時 ← 土日寸

(1) □ ← 艮月

(2) □ ← 口玉

(3) □ ← 車土又

(4) □ ← 日立十

部分のはばや高さが変わっている場合もあるよ。

2 次の(1)～(4)の漢字は、それぞれ同じ部首と組み合わせると、別の漢字になります。組み合わせる部首を考えて、できる漢字を上から順に□に書きましょう。

〈例〉 交・木・黄→ 校・林・横

(1) 東・冬・会→ □・□・□

(2) 由・合・相→ □・□・□

(3) 十・売・寺→ □・□・□

(4) 田・自・音→ □・□・□

「木（きへん）」と組み合わせると漢字ができるね。

1学期のまとめも 読書感想文も

Z会 × ちびむすドリル

名前

10分　／

6 ことわざ・慣用句

1 次の（　）にあてはまる生き物の名前をあとの□から一つずつ選んで書き、ことわざを完成させましょう（言葉は一度ずつしか使えません）。

(1) （　）も歩けばぼうに当たる。
〈意味〉何かをしようとすれば、思いがけないさいなんにあうこと、または、何かをやっていると思いがけない幸運にあうことのたとえ。

(2) （　）も木から落ちる。
〈意味〉どんな名人でも時には失敗することがあるということのたとえ。

(3) （　）の耳に念仏。
〈意味〉いくら言ってもききめがないことのたとえ。

(4) （　）の手も借りたい。
〈意味〉ひじょうにいそがしくて、どんな手伝いでもほしいことのたとえ。

(5) 泣きっつらに（　）。
〈意味〉悪いことの上に、さらに悪いことが重なることのたとえ。

はち　さる　ねこ　犬　馬

2 次の（　）にあてはまる体の部分の名前をあとの□から一つずつ選んで書き、慣用句を完成させましょう（言葉は一度ずつしか使えません）。

(1) （　）を打つ。
〈意味〉心に強く感じる。

(2) （　）をぬかす。
〈意味〉ひどくおどろく。

(3) （　）に（　）はかえられない。
〈意味〉大切なことのためには、ほかをがまんするのはしかたがない。

むね　はら　こし　せ

3 次の□にあてはまる慣用句をあとのア～ウから一つずつ選び、（　）に記号を書きましょう。

(1) 仲直りをしてこれまでのことは□。（　）

(2) 発表の前に原こうにもう一度□。（　）

(3) 妹はまだ小さいので、何をするにも□。（　）

ア　目を通す　　イ　水に流す　　ウ　手がかかる

国語

1学期のまとめも読書感想文も
Z会×ちびむすドリル